

報告事項エ

平成29年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会について

平成29年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会について、別紙のとおり報告します。

平成30年1月25日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成29年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会について

特別支援教育課

1 目的

特別支援学校幼児児童生徒が生涯にわたって運動・スポーツに親しむための在学中の指導・支援の在り方や運動・スポーツ環境等の充実に向けた取組について協議する。

2 日時

平成29年12月25日（月）午後2時から午後4時まで

3 場所

鳥取県庁 第2庁舎4階 第34会議室

4 参加者

各県立特別支援学校 副校長・教頭・学部主事・主幹教諭 等 8名

一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 事務局長、スポーツ指導員 等 4名

地域振興部スポーツ課 課長・課長補佐・係長等 1名

体育保健課 課長・課長補佐・係長等 1名

5 内容

(1) 情報提供

① 「特別支援学校等を活用した障がい児・者のスポーツ活動実践事業について」

(医療法人養和会 メディカルフィットネスセンターCHAX 主任 石丸 知氏)

② 平成30年度における関係各課、関係機関の取組について

(一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会、地域振興部スポーツ課、特別支援教育課)

③ 鳥取県の特別支援学校等における運動・スポーツ環境アンケート結果について

(特別支援教育課)

(2) 情報交換

- ・特別支援学校体育施設には空調もあり、また、卒業生にとってトイレが使い慣れている、道具がそろっているなど、利用者にとって活用しやすい環境である。特別支援学校体育施設を活用した取組を通して、仲間づくりと活動場面の拡がりが見られている。(石丸氏)
- ・卒業後に地域の総合型地域スポーツクラブと繋がるために、4つの総合型地域スポーツクラブに学校に来てもらった。結果、7人の生徒がスポーツクラブに興味を持ち、保護者からも4件の問合せがあった。そこから、実際につなげていくことが今後の課題である。(琴の浦)
- ・総合型地域スポーツクラブの中には、障がいのある方の受け入れに不安を持っている所もある。障がい者スポーツ協会が学校と総合型地域スポーツクラブの間に入って、つないでいけるようにしたい。(障がい者スポーツ協会)

(3) 協議

① 協議テーマ

「生涯にわたって、運動・スポーツに親しむための学校及び関係機関の役割・取組について」

② 協議内容のまとめ

	地域とのつながり	情報提供の充実	意欲や体力の向上
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校との部活動等を通じた交流、つながり作り ・交流及び共同学習の設定の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育全般の充実 ・各運動特性を生かした指導の充実 ・運動を楽しむ経験、多様な運動経験の提供 ・スポーツ観戦の機会を設定
スポーツ団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツができる場の提供（スポーツプログラム、大会への派遣） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校への情報提供の充実（スペシャルオリンピックス、競技スポーツ以外の運動等の活動場所、総合型地域スポーツクラブ等） ・生徒が参加しやすいような大会日程・会場の見直し（平日や夏休みでの開催、西部の生徒も参加できるような時間や会場の設定） ・児童デイサービス等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス、トランポリン等をテーマにした取組の発信
行政 (県教育委員会、スポーツ課等)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習の推進 ・総合型地域スポーツクラブ等による特別支援学校体育施設等を活用した取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動スポーツにかかる県、各校の取組の発信と情報共有 ・ダンス、トランポリン等をテーマとした受け皿を作る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設、用具の整備 ・レッツプレイスポーツ事業の実施 ・新学習指導要領の周知 ・福祉と連携したダンス、体操等の開発